



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社セイヒョー

コード番号 2872

URL <http://www.seihyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 周一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 田辺 俊秋 (TEL) (025) 386-9988

四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	1,024	△2.5	△3	—	△0	—	△0	—
27年2月期第1四半期	1,051	2.6	△8	—	△4	—	△5	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	△0 16	—
27年2月期第1四半期	△1 34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,474	1,054	42.6
27年2月期	2,096	1,046	49.9

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 1,054百万円 27年2月期 1,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	△1.2	90	172.4	98	119.8	88	155.7	21.45
通期	3,500	2.4	20	—	35	—	28	—	6.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期1Q	4,320,810株	27年2月期	4,320,810株
28年2月期1Q	220,535株	27年2月期	219,772株
28年2月期1Q	4,100,676株	27年2月期1Q	4,103,207株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、平成27年7月13日に終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景として、企業収益に改善が見られ、雇用環境の改善や設備投資の持ち直し等により、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、個人消費の回復は弱く、海外景気の下振れ懸念などもあり、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

国内食品業界におきましては、消費者の根強い節約志向が続く中で、円安による原材料価格の上昇や、低価格化による販売競争・価格競争等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社は、経営環境の変化に対応し、さらなる企業価値向上を目指した新たなビジョンのもと、中期経営計画「Challenge For Next Century」をスタートさせ、将来の持続的成長の実現に向けた取り組みを積極的に展開いたしました。また、平成28年3月に創業100周年を迎えるに当たり、1年をかけて100周年事業を展開してまいります。100周年事業の主旨は、自社の企業価値を見直し、現状の経営課題を解決する契機とすること、及び会社の歴史を振り返り今後の事業の方向性を構築・発信していくことを基本方針として、業績の向上や知名度の向上、社内改革等を進めてまいります。

当第1四半期累計期間の売上高は、自社製品の販売は順調に推移したものの、OEM製品(相手先ブランド名製造)の販売数量が前期に比べ減少したことから、1,024百万円(前年同期は1,051百万円)となりました。

損益面については、製造工場のロス削減や、販売費及び一般管理費の節約に努めました。その結果、営業損失は前年より改善し3百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。経常損失は0百万円(前年同期は経常損失4百万円)、四半期純損失は0百万円(前年同期は四半期純損失5百万円)となりました。なお、当社は夏季に集中して需要が発生するため、特に第2四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ、378百万円増加し、2,474百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額76百万円、受取手形及び売掛金の増加額343百万円、商品及び製品の減少額50百万円等によるものであります。負債の増減の主なものは、買掛金の増加額172百万円、短期借入金の増加額200百万円、未払金の減少額20百万円、未払費用の増加額13百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、「平成27年2月期 決算短信(非連結)」(平成27年4月14日付)にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、2期連続の夏場の天候不順による主力製品(アイスクリーム等)の販売伸び悩み等により、平成26年2月期(第103期事業年度)及び平成27年2月期(第104期事業年度)に連続して営業損失を計上したことから、継続企業の前提に関する重要事象の存在を認識しております。

しかしながら、当社は当該状況を早期に解消するため、中期経営計画「Challenge For Next Century」における施策である①営業の強化②経営基盤の強化③業務の効率化、標準化④製品ブランド力の強化⑤コストダウン⑥人材の育成に積極的に取り組んでまいります。また、平成27年2月23日の取締役会で、佐渡工場のアイスクリーム及び笹だんごの製造を中止し、アイスクリームの製造は新潟工場へ、笹だんごの製造は三条工場へ集約する決定をいたしました。これにより2工場の生産性の向上及び収益力の改善を図ってまいります。

上記を中心とした施策を講じながら収益力の回復に努めており、今後の運転資金も十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,846	215,563
受取手形及び売掛金	261,948	605,447
商品及び製品	501,777	450,928
原材料	47,601	51,174
繰延税金資産	1,223	1,223
その他	7,789	9,084
貸倒引当金	△1,930	△4,100
流動資産合計	957,256	1,329,320
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	448,115	439,971
機械及び装置(純額)	160,586	165,575
土地	224,792	224,792
リース資産(純額)	16,979	19,880
建設仮勘定	28,080	28,080
その他(純額)	19,007	18,372
有形固定資産合計	897,562	896,672
無形固定資産		
リース資産	18,609	16,687
ソフトウェア仮勘定	4,200	5,280
その他	6,319	5,979
無形固定資産合計	29,129	27,946
投資その他の資産		
投資有価証券	168,860	177,715
その他	44,508	43,764
貸倒引当金	△1,302	△995
投資その他の資産合計	212,066	220,485
固定資産合計	1,138,758	1,145,104
資産合計	2,096,015	2,474,424

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,128	357,449
短期借入金	500,000	700,000
リース債務	13,954	14,034
未払金	80,109	60,100
未払費用	34,907	48,283
未払法人税等	1,903	784
未払消費税等	14,588	13,676
賞与引当金	16,292	23,341
その他	8,161	10,785
流動負債合計	855,046	1,228,456
固定負債		
リース債務	22,503	23,958
繰延税金負債	40,796	39,754
退職給付引当金	109,062	104,732
役員退職慰労引当金	405	405
資産除去債務	17,010	17,011
その他	4,993	5,221
固定負債合計	194,771	191,083
負債合計	1,049,817	1,419,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	216,040	216,040
資本剰余金	22,686	22,686
利益剰余金	784,297	783,638
自己株式	△49,265	△49,514
株主資本合計	973,758	972,851
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	72,438	82,033
評価・換算差額等合計	72,438	82,033
純資産合計	1,046,197	1,054,884
負債純資産合計	2,096,015	2,474,424

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,051,695	1,024,705
売上原価	936,134	906,329
売上総利益	115,560	118,376
販売費及び一般管理費	124,411	122,330
営業損失(△)	△8,851	△3,954
営業外収益		
受取利息	146	125
不動産賃貸料	3,566	3,410
受取手数料	716	681
雑収入	1,705	839
営業外収益合計	6,134	5,056
営業外費用		
支払利息	889	1,067
不動産賃貸費用	513	500
雑損失	-	0
営業外費用合計	1,403	1,568
経常損失(△)	△4,119	△466
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	971	-
特別損失合計	971	0
税引前四半期純損失(△)	△5,090	△466
法人税、住民税及び事業税	423	285
法人税等調整額	△6	△92
法人税等合計	416	192
四半期純損失(△)	△5,507	△658

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。